



自衛隊埼玉地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCES SAITAMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

祝！新秩父市長就任表敬訪問



埼玉地方協力本部（本部長 山下1空佐）は、令和3年5月21日（金）に秩父市長就任に伴う表敬訪問を行った。

会談では、本部長から新たに市長に就任された北堀篤市長への祝辞に始まり、昨今の日本を取り巻く安全保障環境、最近の自衛隊の活動及び募集の状況について紹介した。北堀市長からは我が国周辺の厳しい安全保障環境、近年の自然災害及び新たな脅威としての新型コロナウイルス等への迅速機敏な対応について沢山の謝辞を述べた。また、4月1日に新天地へ移転した秩父地域事務所の話題にも触れ、正面玄関に設置した堀川広報官自作の手彫り看板（長さ約2m80cm）の画像をお披露目すると、あまりのクオリティの高さに「自衛隊は自己完結型組織と言われるが、まさかこんなに素晴らしい看板まで自分達で作成してしまうとは」と舌を巻いて絶賛されていた。

埼玉地方協力本部は自治体との関係を今後より一層強化し、質の高い人材を確保していくと語り決意をあらたにした。

教養講座の講師として

埼玉地方協力本部（本部長 山下1等空佐）は、令和3年6月28日（月）、長瀬町中央公民館からの依頼を受け、町民に対し「防衛省自衛隊・新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取り組み」と題した講演会を実施した。

本講演会は、防衛省自衛隊が新型コロナウイルスの感染拡大に際して様々な派遣活動に従事しており、活動隊員から1人の感染者も発生させずにすべての任務を完遂してきた経緯を踏まえ、防衛省自衛隊の経験・教訓・感染防護基準を学ぶことで、長瀬町民の感染拡大防止に役立てるべく企画された。

講演会当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限配慮しつつ、30代から60代の参加を得て実施された。

講演を行ったのは、長瀬町を含む秩父郡市5地区を担当する秩父地域事務所広報官の堀川陸曹長（当時）で統合幕僚監部HP資料「新型コロナウイルス対策」と「新型コロナウイルスから皆さんを守るために」をもとに、現在までの防衛省自衛隊の活動実績と感染防護基準・教育要領等を説明するとともに、マスク・手袋の脱衣方法やエタノール消毒液の調整方法を実演した。

堀川曹長は「本日講演を聞いたからといって、新型コロナウイルスの感染を必ずしも防げる訳ではありませんが、皆さん一人一人が現在実践されている感染対策を自覚・覚悟・決意をもって確実にそして地道に実施することで感染リスクを低減できます。」ということに参加者に再三に渡り訴えかけていた。

講演当初は少し冷めた目で聴講していた参加者も熱く感染対策を語る堀川曹長に感化され、話を聞き終えた後は参加者同士で基本的な対策の重要性について語り合っていた。また、長瀬町公民館の担当者は、「非常に有益な講演でしたので、他の自治体にも是非紹介させて頂きたい。」と講演者である堀川曹長に依頼しており、堀川曹長も「その際には喜んでお受けしたい。」と笑顔で答えていた。

埼玉地本は、今後も自衛隊の認知及び広報活動の一環として、様々な依頼に対し全力で取り組み、自衛隊をPRしていくとしている。

